



アジア競技大会・ アジアパラ競技大会 (2026 / 愛知・名古屋)

開幕直前 村手 聡

大会組織委員会事務総長 に聞く



観戦楽しみ、選手を応援 感動と興奮の共有を

―大会の開幕（9月19日）が迫りました。準備状況をお聞かせください。

村手聡・大会組織委員会事務総長 参加する国・地域の選手団のエントリーを終え、現在その人数を含めた最終調整に入っており、大会が目前に迫ったことを実感しています。そして、名古屋港のガーデンふ頭では、選手団を受け入れる移動式宿泊施設の設置が完了したほか、同じく宿泊施設となるクルーズ船も間もなく入港といった状況です。大会に向けた準備は、現在に至るまで組織委員会が一丸となって進めてきましたが、いよいよ仕上げの段階に入りました。開催直前まで準備を続け、日本のみならずアジアの多くの方にこの大会を楽しんでいただきたいと思います。

―競技場はアジア競技大会（以下、アジア大会）が54カ所、アジアパラ競技大会（以下、パラ大会）は19会場。整備は大詰めですね。

村手事務総長 大会のレガシーとなるような施設整備は新設や大規模改修をするなど開催都市に、しっかりとやっていただき、完了しました。観客の皆様を迎える準備は万全です。今は、大会に向けた仮設施設の整備段階で、通信、エネルギー利用や観客席、警備関係などが中心です。会場数が多いのが総合スポーツ大会の特徴で、各会場でラストスパートの整備が続いています。

―競技数、参加国・地域、参加者数などの変更は。

村手事務総長 参加するのは45の国と地域で、変更はありませんし、参加者は最終的な受け付けをしています。概ね見込み通りです。一方で、アジア大会はテニスとスカッシュを合わせたような「パデル」とサッカーと卓球を合わせたような「テックボール」の2つが追加され、当初の41競技から43競技になりました。日本ではあまり馴染みのないスポーツかも知れませんが、大会は両競技を理解する良いきっかけになると思います。

―チケットの販売状況は。まだ席に余裕のある競技は。

村手事務総長 今はちょうど、サッカーなど球技の対戦カードが順次決定しているところで、チケット販売は、これから本格的に伸びていくと考えています。個別の競技の販売状況では、バレーボールやバドミントン、車いすテニスなど一部の人気競技のほか、開閉会式については、在庫が少なくなっているのですが、お早めにご購入ください。一方、野球やサッカー、陸上、パラ陸上など競技会場の収容人数が多い競技やその他の競技については、まだまだ席に余裕があります。やはり、全競技会場において満席のスタジアムで応援していただくと、アスリートも最大の力を発揮して、最高のプレーを披露してくれます。結果的に観客も素晴らしい試合を見ることができ、いわばWIN-WINの関係が生まれます。全会場で満席を目指したいですね。

―日本代表選手も多くのメダルが期待されます。前回杭州は188個、前々回ジャカルタは205個でした。

村手事務総長 日本オリンピック委員会と日本パラスポーツ協会は、愛知・名古屋大会を2年後のロサンゼルスオリンピック・パラリンピック大会に向けた重要なマイルストーンと位置付け、多数のメダル獲得が期待できる強力な日本代表選手団を編成し、各中央競技団体とともに総力を挙げて選手強化を行うとしています。また、アジア大会では現時点で過去最多の933名の日本人選手が全43競技にエントリーする予定です。日本の選手には、数多くのメダル、中でも一番輝く色のメダルをたくさん取れるよう活躍してほしいと思っています。

―注目される競技は。

村手事務総長 アジア大会で43競技、パラ